

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果の概要について

令和元年8月備前市教育委員会学校教育課

目的：◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

実施日：平成31年4月18日（木）

実施校：市内小学校10校第6学年児童230人

市内中学校 5校第3学年生徒245人

調査：◇教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

1 学力調査結果の分析

<小学校>

【国語】

全体的にほぼ全国・県平均とほぼ同等の正答率である。

資料に図表やグラフが用いられている意図や、情報を相手にわかりやすく伝えるための工夫をとらえる問題など、実際の学習場面を想定した問題で正答率が県・全国を上回るなど、一定の授業改善の効果が見られた。

ただ、説明的文章を目的に読んで、自分の考えを理由を明確にして書いたりする問題においては正答率が県・全国平均をやや下回り、無回答率も高くなるなどの課題が見られた。

また、漢字の使用や文法等の基礎的な内容については、無回答率が県・全国と比較して低いことから、基礎的な内容の定着は概ね良好であり、正答率の分布とあわせて考えても、学力二極化の傾向も比較的弱いことが推定される。

このようなことから、今後は、現在進行している授業改善の取り組みを継続していくとともに、特に説明的文章を中心として、児童が文章の構造やその意図、またその中にある言葉の働き等に注目することができる学習場面を、より積極的に取り入れていくことが効果的であると考えられる。

また、全体的には全国と比してさほど無回答率が顕著に高いということはないものの、問題によっては無回答率が全国を上回ることもあり、日常的にすべての児童が自分の考えをもつことができるような学習活動の設定等の工夫は必要であるといえる。

【算数】

全体的には全国・県の正答率をやや下回っている。

図形や計算の性質の理解やグラフの読み取り等を問う問題の正答率が概ね全国・県平均と同等の正答率であったことから、基礎的な理解や技能の定着は概ね良好であるといえる。また、これらの問題については無回答率も全国・県を下回っていることから、正答率の分布とあわせて考えても、学力二極化の傾向は弱いと推定される。

ただ、計算の意味を解釈したり、性質を利用してよりよい方法を考えたりするような問題、また、複雑な問題場面を整理する問題等については全国・県をやや下回る傾向が見られた。

このような状況から、日常的な授業の中で児童にしっかりと操作や立式の意味を問い、数学的な見方・考え方の働く学習場面を設定するなどの工夫が、今まで以上に必要であることがわかった。

<中学校>

【国語】

全体的には県・全国の正答率を上回っている。

文章の構成を評価しながら読み、自分の考えをもつ問題や、伝えたい事柄について根拠を明確にして書く問題等、正答率が県・全国と比較して5ポイント以上高い問題もあり、その他の問題についても正答率が県・全国比を上回るものがほとんどであった。

また、無回答率についても全体的に県・全国と比較して顕著に低く、正答率の分布とあわせて考えても、まんべんなく学力が見についていることが推定されるとともに、生徒の学習に対する意欲の高さがうかがえた。

ただ、文章の推敲等、実際の学習場面を想定した問題にやや課題も見られた。

このようなことから、現在進行している授業改善の取り組みを継続するとともに、特に一つ一つの学習場面の意味を学習者が理解し、より自覚的に学習に取り組むことができるよう工夫する余地があると考えられる。

【数学】

全体的には県・全国の正答率を上回っている。

三角形の合同条件の理解や「最頻値」「代表値」といった用語の意味等を問う問題の正答率が全国・県と比較して5ポイント程度高い傾向にあり、基礎的な知識・技能の定着については良好であるといえる。

また、これらの問題は特に無回答率も県・全国と比較して5ポイント以上低く、正答率の分布とあわせて考えても、基礎学力の二極化や生徒の学習意欲等についての課題は、県・全国と比較して小さいことが推定される。

ただ、式変形の意味や数学的な結果を解釈するなど、数学的な思考力や考察力が問われる問題については正答率がやや県・全国を下回る傾向もあった。

このようなことから、日常の授業において、学習者がより数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に思考することのよさや楽しさを実感したり、自らもった考えを伝えあったりすることのできる学習場面のより一層の充実が必要であることがわかった。

【英語】

全体的には県・全国の正答率を上回っている。

書かれている内容を正確に読み取り、あらすじや大切な部分を理解する問題の正答率は平均的に県・全国を3ポイント程度上回っている。

また、文法事項を理解し、適切な接続詞を選択したり、1文を書いたりする問題についても、正答率が県・全国を3から5ポイント程度上回っている。

さらに、無回答率が県・全国と比較して全体的に極めて低い傾向にあり、半数以上の設問について0%であった。中でも「聞き取り」の問題については7問中6問が無回答率0%と、オールイングリッシュの授業やALTの配置による英語環境の整備などの取り組みが生徒の「英語慣れ」を促していることが考えられる。

ただ、まとまりのある文を書いたり、目的に応じて英語で応答したりする問題等については課題も見られた。

このようなことから、ALT等の言語環境を活用した授業改善を継続していくとともに、学習者がより目的意識をもって英語を使用する場面等の設定等の工夫が必要であることが分かった。

2 学校及び市教育委員会の取組

【学校】

○授業改善・中堅教諭による県外視察、及び計画訪問の実施による校内研修体制のより一層の充実

- ・市内中堅教諭の資質向上及び連携強化
- ・中堅教諭の指導力を発揮した校内研修体制の構築
- ・中堅教諭と指導主事が協力した若手教員の授業力向上を中心とした学校力の組織力向上

○授業のユニバーサルデザイン化の実践

- ① 教科の本質へ向かう授業UD化に対する市内教員の共通理解（全員研修）
- ② ①を受けた指導主事による各校に対する継続的な支援・助言

○中学校区単位での学力向上に向けた共通実践の推進

- ・中学校区単位での学力的課題に対する共通理解と組織的対応

- 指導主事による若手教員を対象に特に算数・数学の授業改善のための指導・助言
- 補充学習・朝、昼、放課後等を有効に活用した補充学習の推進
- 学習習慣・授業と連動、家庭と連携し、家庭学習の内容充実と習慣化の推進

○土曜日授業等の実施

【教育委員会】

- 体制整備・ICT(電子黒板・デジタル教科書等)環境の整備
 - ・タブレットPCの整備
 - ・きめ細やかな指導を可能にする市費非常勤講師や教育支援員の配置
 - ・指導訪問等による学校の課題解決に向けた指導助言
- 補充学習・地域の教育力を生かし、公民館等で土曜日や長期休業中に補充学習を行う「備前まなび塾+」の実施
 - ・地域の教育力を生かし、授業支援や補充学習、環境整備、通学の見守り支援等を行う学校支援地域本部の実施
 - ・岡山大学・ベネッセコーポレーションと連携したタブレットPCのソフトウェアの活用
 - ・大学生を講師とした中学校3年生対象の受験対策講座（サタスタ）の開設

3 学力調査（教科に関する調査）

（1）平均正答率

小学校	2教科平均	国語	算数
備前市	63.5	63	64
岡山県	64.5	64	65
全国	65.2	63.8	66.5
県比較	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 1.0
国比較	▲ 1.7	▲ 0.8	▲ 2.5

中学校	3教科平均	国語	数学	英語
備前市	64.7	75	62	57
岡山県	62.3	73	60	54
全国	62.9	72.8	59.8	56.0
県比較	2.3	2.0	2.0	3.0
国比較	1.8	2.2	2.2	1.0

◆ 同一集団の平均正答率の経年変化

※平成30年度全国学力・学習状況調査の対象者（中学校3年生）は、平成28年度全国学力・学習状況調査の対象者（小学校6年生）

とほぼ同一集団である。

区分	2教科平均			国語			数学		
	備前市	岡山県	比較	備前市	岡山県	比較	備前市	岡山県	比較
H28 全国学力	68.3	65.3	3.0	69.6	66.8	2.8	66.9	63.8	3.1
H31 全国学力	68.5	66.5	2.0	75.0	73.0	2.0	62.0	60.0	2.0
H28～H31 比較			▲ 1.0			▲ 0.8			▲ 1.1

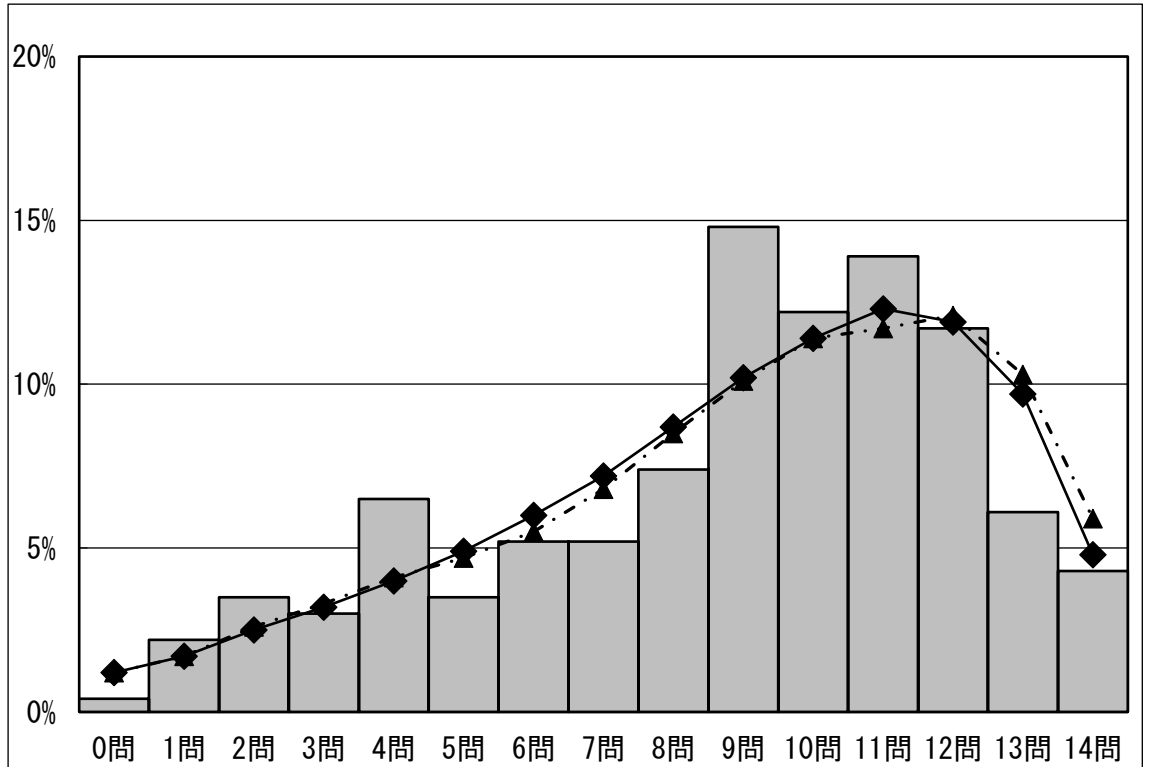
平成27年度全国学力・学習状況調査（小6）時点から、平成31年度全国学力・学習状況調査（中1）の時点へかけて、国語・数学（算数）ともに伸び悩んだ。

(2) 正答数分布 [小中教科別] 縦軸：割合 (%) 横軸：正答数 (問)

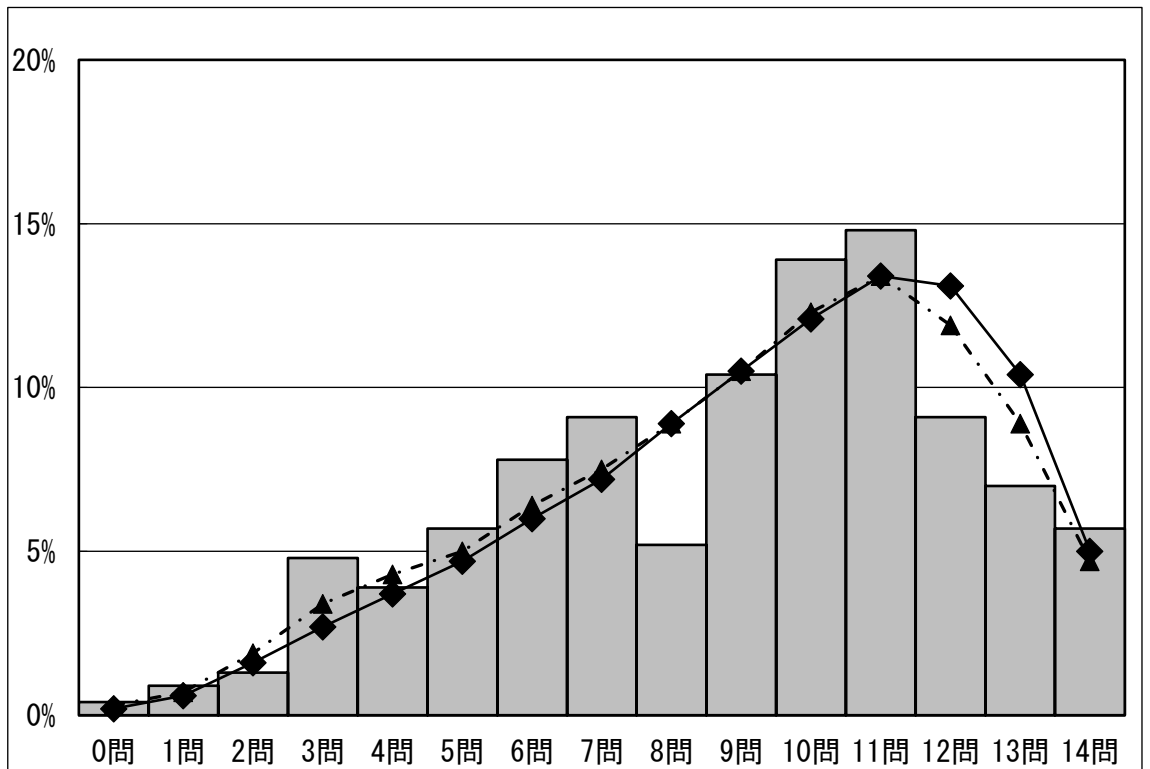
市 県 全国

【小学校】

国語

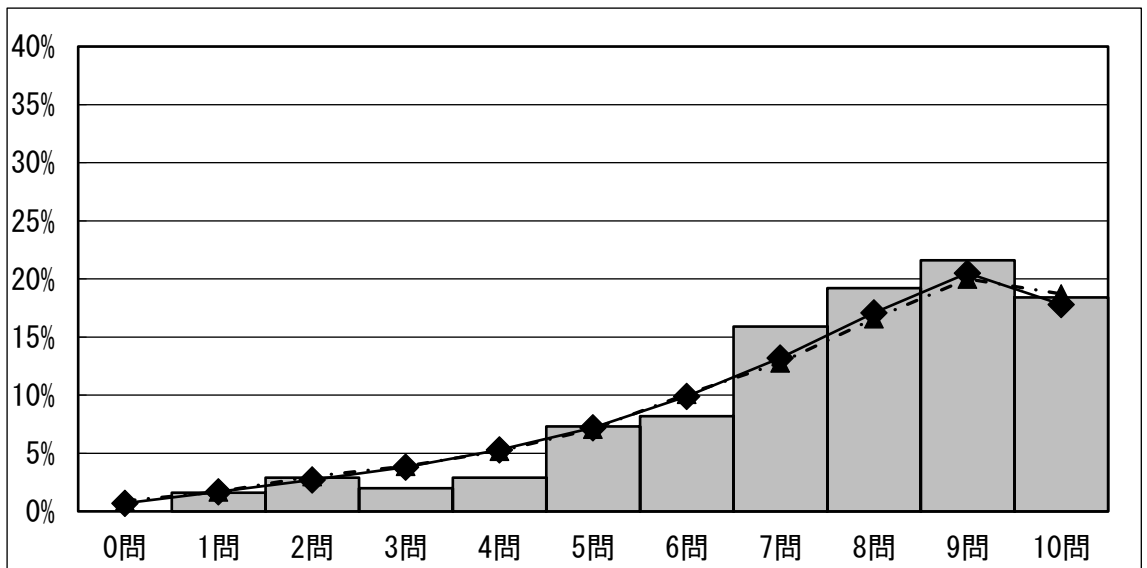


算数

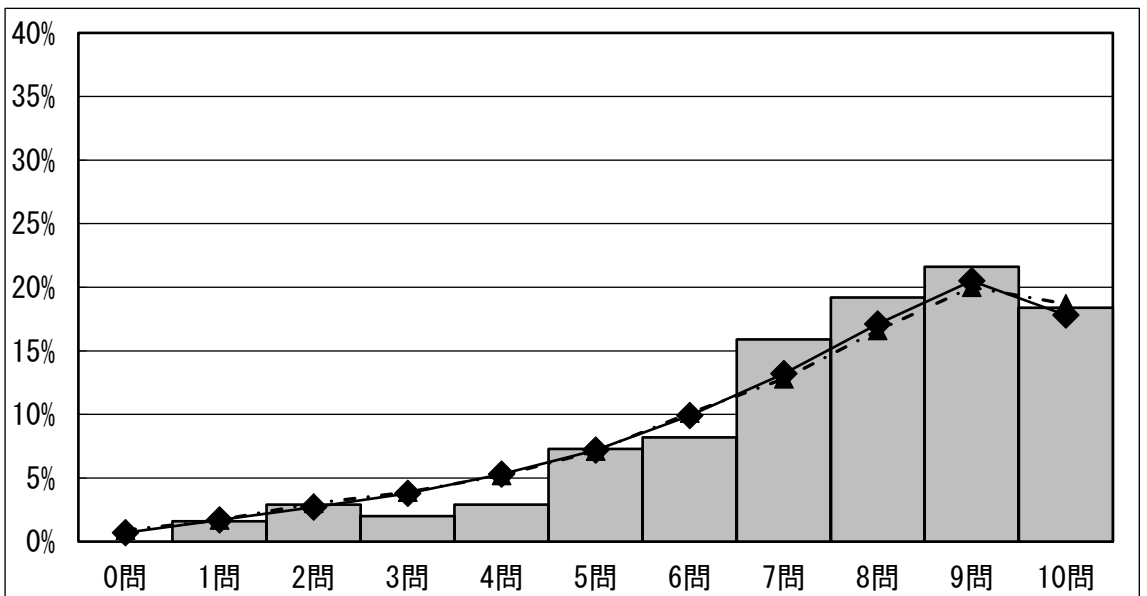


【中学校】

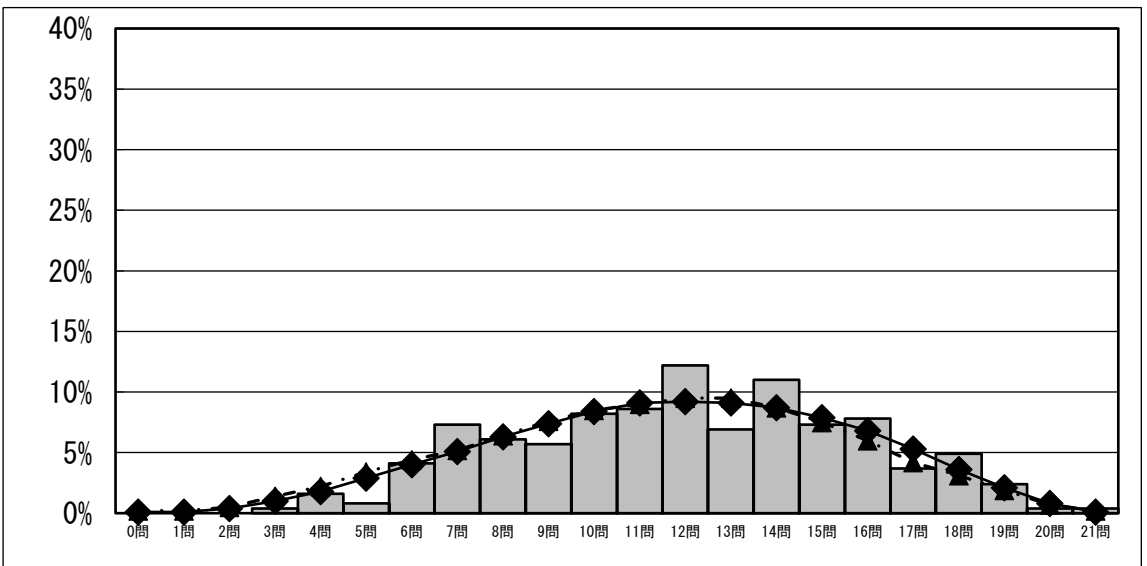
国語



数学



英語

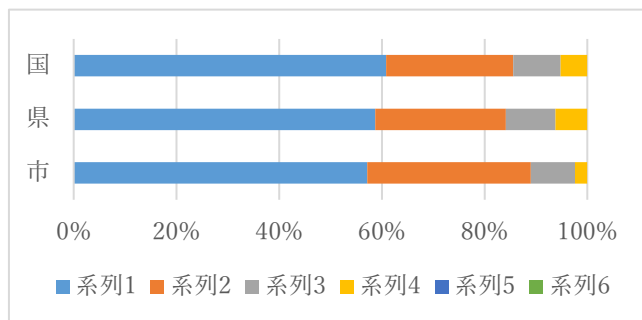


2 質問紙調査（主な項目のみ）

A 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師を含む。）

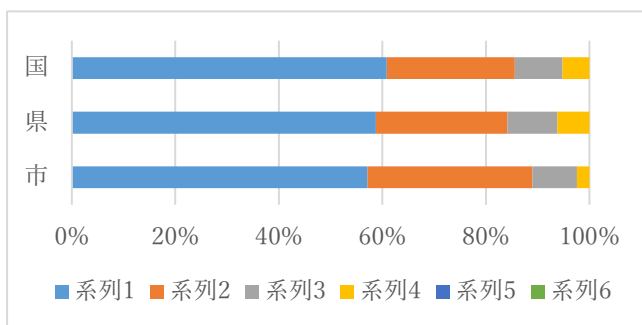
1.3時間以上 2.2時間以上3時間より少ない 3.1時間以上、2時間より少ない 4.30分以上1時間より少ない 5.30分より少ない、
6.全くしない

【小学生】



区分	1	2	3	4	5	6
市	7.8	20.9	39.1	24.8	5.2	2.2
県	10.7	19	42.4	21.4	5.2	1.3
国	12.4	16.9	36.8	24.1	7.6	2.3
県比較	▲ 3	2	▲ 3	3	0	1
国比較	▲ 5	4	2	1	▲ 2	▲ 0

【中学生】



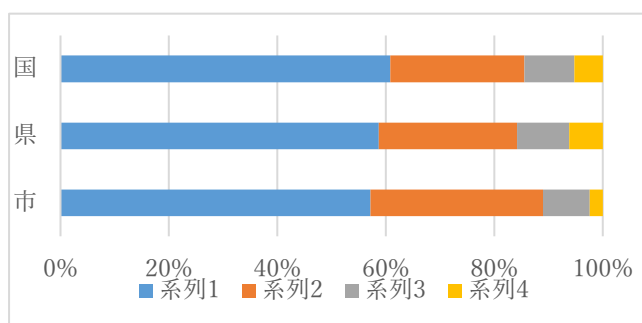
区分	1	2	3	4	5	6
市	9.4	22.4	33.5	21.6	8.6	4.5
県	5.7	20.2	38.7	20.2	9.9	5.1
国	9.9	25.6	34.3	17.2	8.4	4.4
県比較	4	2	▲ 5	1	▲ 1	▲ 1
国比較	▲ 1	▲ 3	▲ 1	4	0	0

1時間以上家庭で勉強する割合（1+2+3）は、小学校では、全国を約1.7ポイント上回っているが、中学校では、4.5ポイント下回っている。

B 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

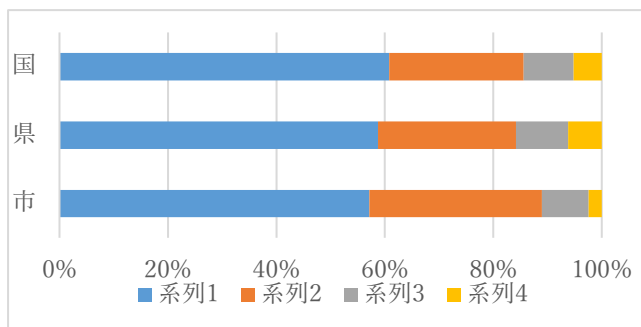
1.している 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	40.4	36.5	20	3
県	36.4	36.9	21.1	5.5
国	33.1	38.4	23	5.5
県比較	4.0	▲ 0.4	▲ 1.1	▲ 2.5
国比較	7.3	▲ 1.9	▲ 3.0	▲ 2.5

【中学生】



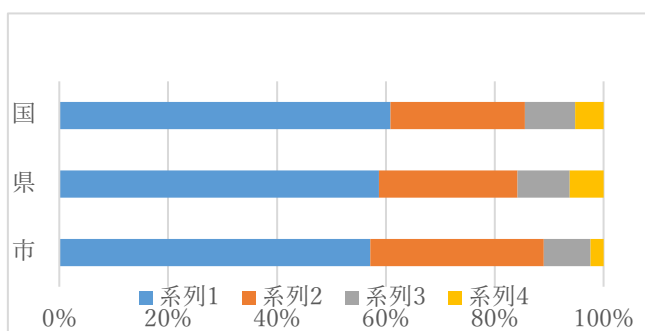
区分	1	2	3	4
市	17.6	36.3	37.6	8.6
県	15.1	33.9	37.7	13.3
国	14.9	35.5	37.3	12.2
県比較	2.5	2.4	▲ 0.1	▲ 4.7
国比較	2.7	0.8	0.3	▲ 3.6

肯定群の割合は小学校で国を5.4ポイント、中学校でも3.5ポイント国を上回っている。

C 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

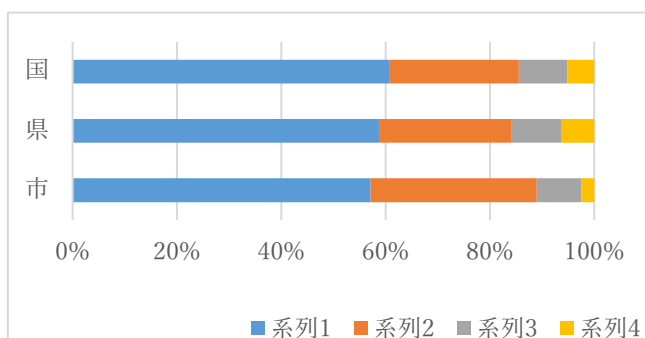
1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	36.5	36.5	20.4	6.5
県	32.3	42.5	19.5	5.7
国	30.3	43.8	20.5	5.4
県比較	4.2	▲ 6.0	0.9	0.8
国比較	6.2	▲ 7.3	▲ 0.1	1.1

【中学生】



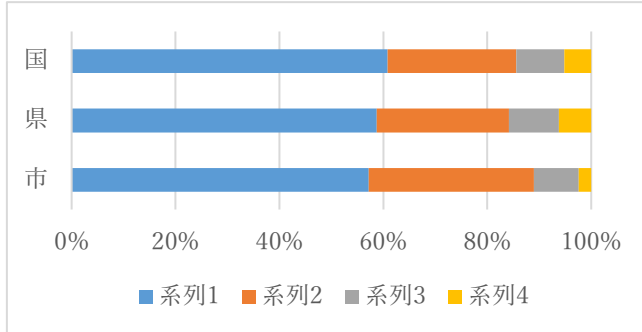
区分	1	2	3	4
市	35.5	45.7	16.7	2
県	30.9	42.4	19.8	6.9
国	28.3	44.5	20.4	6.7
県比較	4.6	3.3	▲ 3.1	▲ 4.9
国比較	7.2	1.2	▲ 3.7	▲ 4.7

C 肯定群（「できている」「どちらかといえばできている」の計）の割合は、小学校では、全国を1.1ポイント下回り、中学校では、全国を8.4ポイント上回っている。

D 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか。

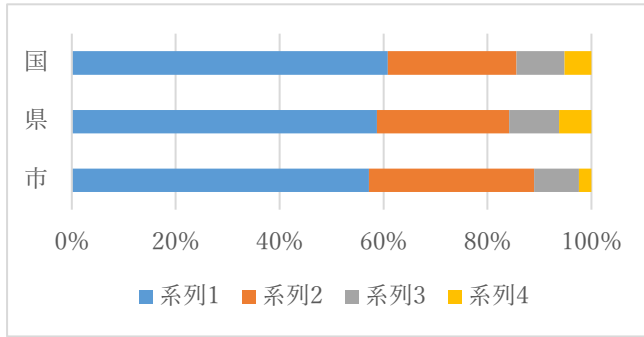
1 生かしている 2 どちらかといえば、生かしている 3 あまり生かしていない 4 全く生かしていない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	42.2	42.2	13.9	1.7
県	42	41.3	13.7	3
国	38.9	43.9	14.3	2.8
県比較	0.2	0.9	0.2	▲ 1.3
国比較	3.3	▲ 1.7	▲ 0.4	▲ 1.1

【中学生】



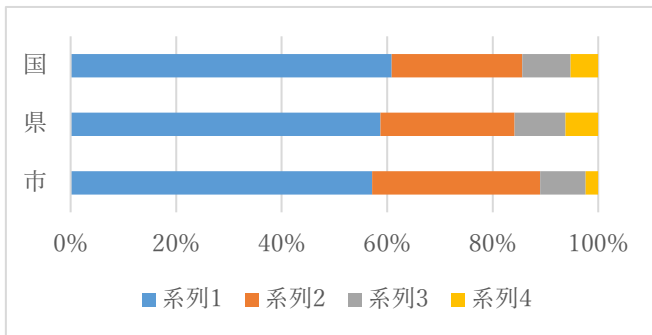
区分	1	2	3	4
市	29.8	51.4	17.1	1.6
県	28	46.1	20.7	5
国	26.9	48	20.6	4.4
県比較	1.8	5.3	▲ 3.6	▲ 3.4
国比較	2.9	3.4	▲ 3.5	▲ 2.8

D 肯定群（「生かしている」「どちらかといえば、生かしている」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では、全国と1.6ポイント、中学校では約6.3ポイント上回っている。

E いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

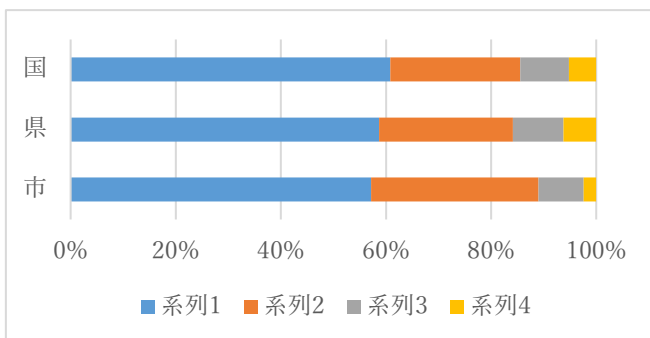
1 そう思う2 どちらかといえば、そう思う3 あまりそう思わない4 全そう思わない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	87	11.7	0.9	0.4
県	86.5	10.8	1.8	0.9
国	85	12.1	2	0.8
県比較	0.5	0.9	▲ 0.9	▲ 0.5
国比較	2.0	▲ 0.4	▲ 1.1	▲ 0.4

【中学生】



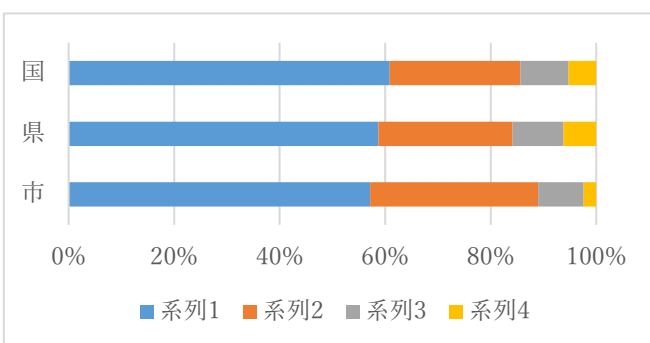
区分	1	2	3	4
市	76.3	20.8	2.4	0
県	79.2	16.2	3.3	1.2
国	78.3	16.8	3.6	1.3
県比較	▲ 2.9	4.6	▲ 0.9	▲ 1.2
国比較	▲ 2.0	4.0	▲ 1.2	▲ 1.3

E 肯定群（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校で1.6ポイント、中学校で2ポイント全国を上回っている。

F 今すんでいる地域の行事に参加していますか。

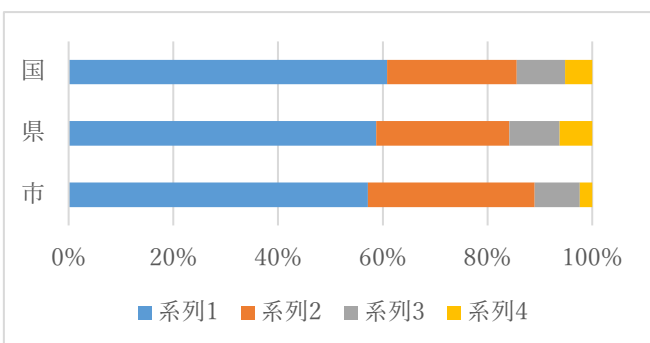
1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	48.3	33	12.6	6.1
県	41.1	29.6	17.2	12
国	37.2	30.8	18.6	13.4
県比較	7.2	3.4	▲ 4.6	▲ 5.9
国比較	11.1	2.2	▲ 6.0	▲ 7.3

【中学生】



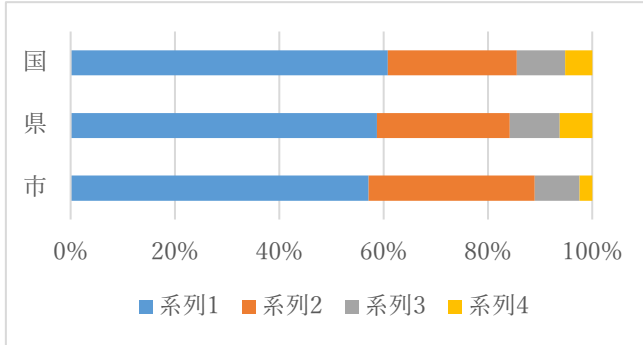
区分	1	2	3	4
市	31	41.6	19.6	7.8
県	22.1	29.8	25.1	23
国	21	29.6	26.1	23.2
県比較	8.9	11.8	▲ 5.5	▲ 15.2
国比較	10.0	12.0	▲ 6.5	▲ 15.4

F 肯定群（「している」「どちらかといえば、している」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校で13.3ポイント、中学校で22ポイントと全国を大きく上回っている。

G 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

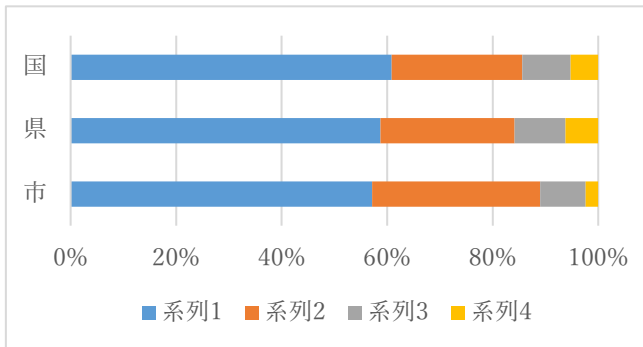
1 ある 2 どちらかといえば、ある 3 あまりない 4 全くない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	20.9	37.8	30.9	10.4
県	20	35	31.5	13.4
国	18.9	35.6	32.3	13.1
県比較	0.9	2.8	▲ 0.6	▲ 3.0
国比較	2.0	2.2	▲ 1.4	▲ 2.7

【中学生】



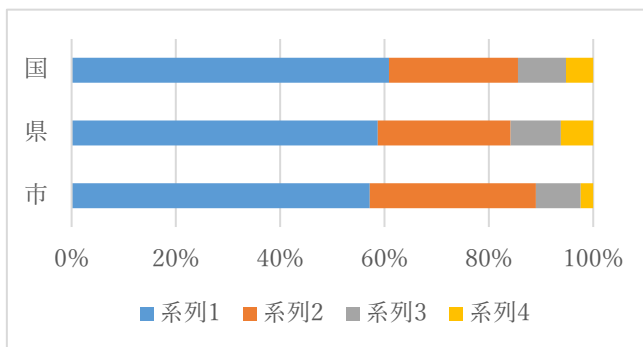
区分	1	2	3	4
市	18.4	33.1	39.2	9.4
県	12.5	26.4	38.2	22.8
国	11.5	27.9	38.9	21.6
県比較	5.9	6.7	1.0	▲ 13.4
国比較	6.9	5.2	0.3	▲ 12.2

G 肯定群（「ある」「どちらかといえば、ある」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校で4.2ポイント、中学校で12.1ポイントと全国を大きく上回っている。

H 将来の夢や目標を持っていますか。

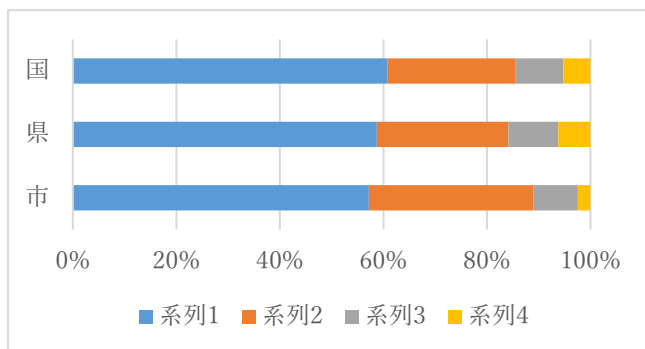
1 そう思う2 どちらかといえば、そう思う3 あまりそう思わない4 全そう思わない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	67	16.5	10.4	6.1
県	65.9	17.9	9.4	6.8
国	65.9	17.9	9.3	6.9
県比較	1.1	▲ 1.4	1.0	▲ 0.7
国比較	1.1	▲ 1.4	1.1	▲ 0.8

【中学生】



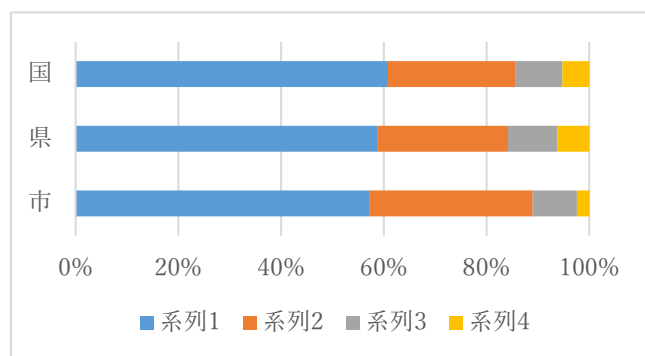
区分	1	2	3	4
市	44.5	23.7	22.4	9.4
県	44.1	25.1	18.9	11.9
国	44.9	25.6	17.9	11.5
県比較	0.4	▲ 1.4	3.5	▲ 2.5
国比較	▲ 0.4	▲ 1.9	4.5	▲ 2.1

H 肯定群（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、中学校、小学校ともに全国と同等である。

I 自分には、よいところがあると思いますか。

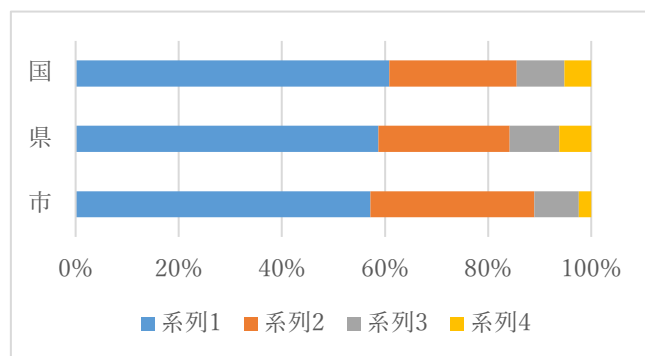
1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 あまりそう思わない 4 全そう思わない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	44.3	38.3	14.3	3
県	41.6	40.9	12.6	4.8
国	38.8	42.4	13.4	5.3
県比較	2.7	▲ 2.6	1.7	▲ 1.8
国比較	5.5	▲ 4.1	0.9	▲ 2.3

【中学生】



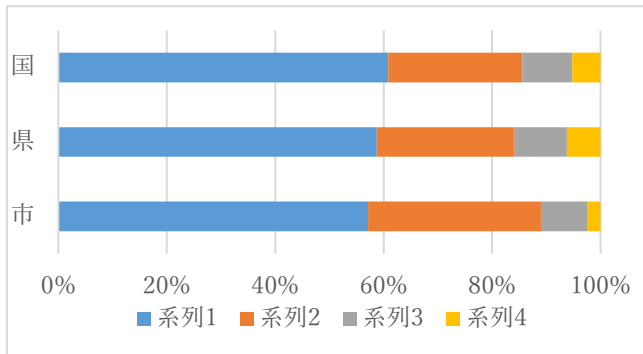
区分	1	2	3	4
市	34.7	44.9	15.9	4.5
県	30.4	45.1	17.9	6.5
国	29	45.1	18.6	7.3
県比較	4.3	▲ 0.2	▲ 2.0	▲ 2.0
国比較	5.7	▲ 0.2	▲ 2.7	▲ 2.8

I 肯定群（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では1.4ポイント、中学校では5.5ポイント全国を上回っている。

Ｊ 国語の授業の内容はよくわかりますか。

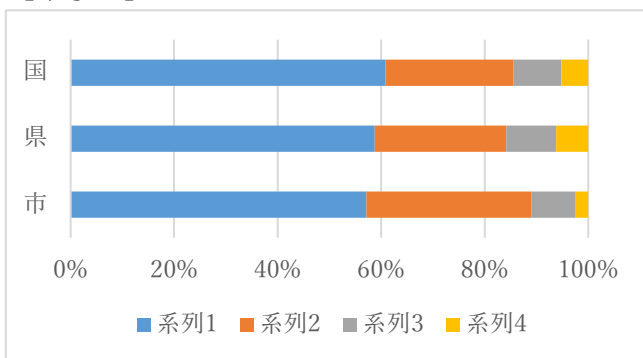
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	47.8	35.7	13	3.5
県	42.2	41.5	12.7	3.6
国	41.2	43.7	12	3
県比較	5.6	▲ 5.8	0.3	▲ 0.1
国比較	6.6	▲ 8.0	1.0	0.5

【中学生】



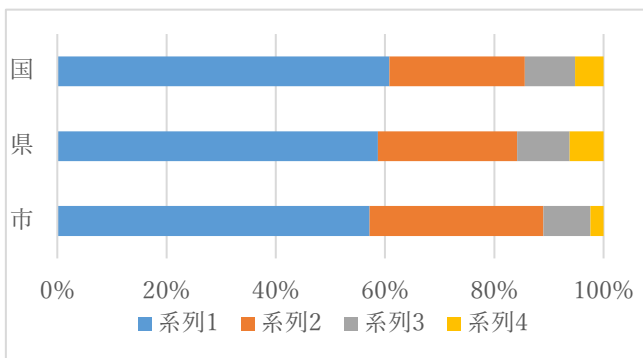
区分	1	2	3	4
市	24.1	56.3	16.3	3.3
県	27.6	48.1	18.9	5.3
国	28.4	49.2	17.8	4.4
県比較	▲ 3.5	8.2	▲ 2.6	▲ 2.0
国比較	▲ 4.3	7.1	▲ 1.5	▲ 1.1

Ｊ 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では全国と同等であるが、中学校では2.8ポイント上回っている。

Ｋ 国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか。

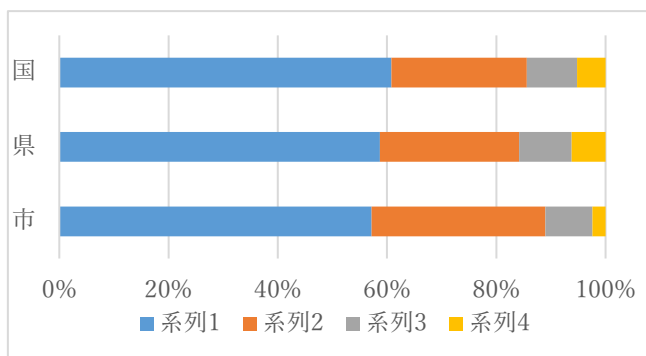
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	34.3	43.5	18.7	3.5
県	32.2	39.5	21.7	6.5
国	30.3	41.1	22.4	6.2
県比較	2.1	4.0	▲ 3.0	▲ 3.0
国比較	4.0	2.4	▲ 3.7	▲ 2.7

【中学生】



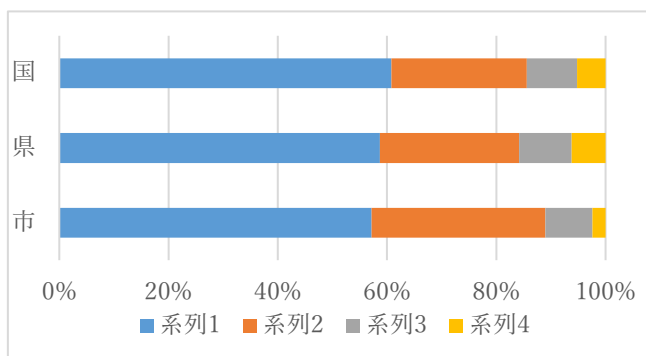
区分	1	2	3	4
市	23.7	54.3	19.2	2.9
県	26.8	41.2	23.8	7.9
国	25.2	43.2	24.6	6.8
県比較	▲ 3.1	13.1	▲ 4.6	▲ 5.0
国比較	▲ 1.5	11.1	▲ 5.4	▲ 3.9

K 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では全国を6.4ポイント、中学校では9.6ポイント全国を上回っている。

L 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。

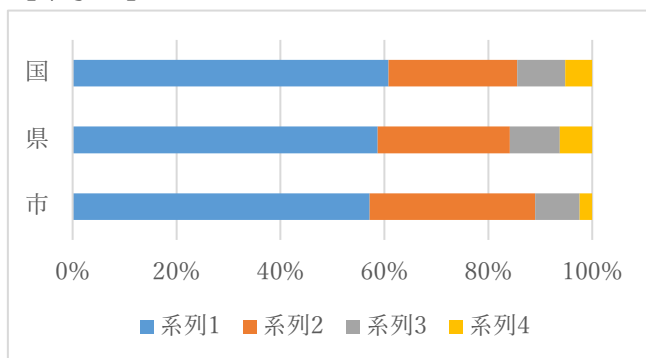
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	49.6	31.3	14.8	3.9
県	48.6	33.4	13.1	4.8
国	49.3	34.2	12.4	4.1
県比較	1.0	▲ 2.1	1.7	▲ 0.9
国比較	0.3	▲ 2.9	2.4	▲ 0.2

【中学生】

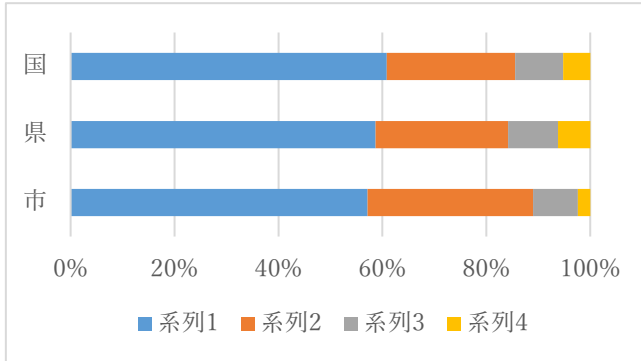


区分	1	2	3	4
市	31	38	25.3	5.7
県	34.5	37.5	19.2	8.7
国	34.8	39.1	18.6	7.3
県比較	▲ 3.5	0.5	6.1	▲ 3.0
国比較	▲ 3.8	▲ 1.1	6.7	▲ 1.6

L 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校で全国を2.6ポイント、中学校では4.9ポイント全国を下回っている。

M 英語の勉強は好きですか。

1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

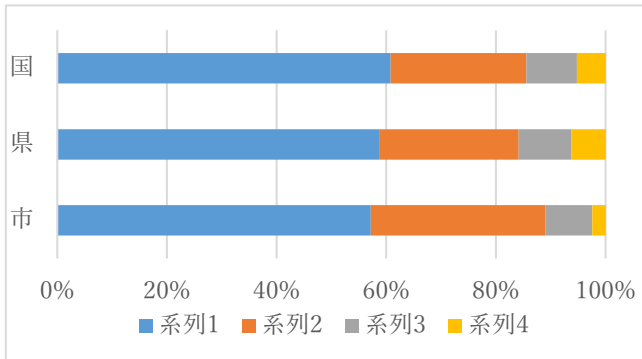


区分	1	2	3	4
市	32.7	28.6	24.1	14.7
県	27.7	26.6	23.7	21.8
国	29	27	24.1	19.8
県比較	5.0	2.0	0.4	▲ 7.1
国比較	3.7	1.6	0.0	▲ 5.1

M 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、5.3ポイント全国を上回っている。

O 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない



区分	1	2	3	4
市	57.1	31.8	8.6	2.4
県	58.6	25.4	9.6	6.2
国	60.7	24.7	9.2	5.2
県比較	▲ 1.5	6.4	▲ 1.0	▲ 3.8
国比較	▲ 3.6	7.1	▲ 0.6	▲ 2.8

O 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、3.5ポイント全国を上回っている。